

物流業界のバックオフィス業務を効率化

# RPA 活用方法



- 01 RPAとは
- 02 RPAで自動化できる物流業の業務9選
- 03 RPA導入成功事例
- 04 RPA導入のポイント
- 05 RoboTANGOのご紹介

# Robotic Process Automation

## RPA = ロボットによるプロセスの自動化

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは、「ロボットによるプロセスの自動化」を意味し、「**定型かつ反復的なパソコン業務を自動化できるソフトウェアロボット**」のことを指します。

自動化したい作業手順をRPAロボットに記録しておけば、人が操作するのと同じ様に自動で実行してくれる仕組みになっています。

近年、多くの企業が「DX推進」に取り組みはじめており、人的リソースの削減や業務効率・生産性向上に寄与できるRPAは特に注目を浴びています。



ロボットに毎月・毎週・毎日の「**作業**」をさせることで、人間はより知的でクリエイティブな「**仕事**」へ注力することが可能に。



## 人件費の膨張を抑える

RPAを活用することで作業ボリュームが増えても、今と同じ人員数で業務が運用できる。繰り返し作業に割く時間をおさえられるため、余計な人件費の削減にもつながる。

01



## 業務効率化

日次・週次・月次のルーチン作業をRPAに行わせることで、業務スピード向上による生産性が高まるだけでなく人間はより付加価値の高い業務に時間を割けるようになる。

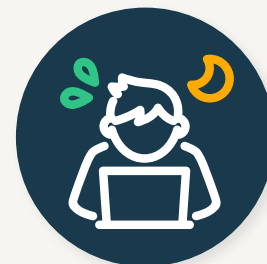
02



## 人的ミスの削減

繰り返しの多い単純作業こそ「ケアレスミス」が付き物。RPAに作業させることで、入力ミスや配信ミスが削減できるだけでなく、修正の時間も減らすことができる。

03



## 残業時間の削減

月末や月初など決まったタイミングで残業が多い職種が、日々の集計・日々の報告業務を、RPAを活用することで、繁忙期の、残業時間の削減が見込める。更に従業員のストレス軽減にも貢献。

04



## 教育コストの圧縮

人員増加に伴う採用も、業務を教えることも、時間・コストがかかること。業務をRPA運用にすることで、採用や教育コストを削減。社員の異動や離職により業務が滞る心配も不要。

05



## 工数がかかる作業（本来はやったほうが良いこと）

本来はやったほうが良いことも、目の前の業務により後回しにされることも。工数がかかることを理由に細かく実施ができていない作業を、RPAは休日・深夜問わず毎日飽きずに実行。

06

## 組み合わせでパソコン上の業務を自動化

### 1 データ入力

ExcelやCSVのデータを  
社内システムやWEBに入力を行う



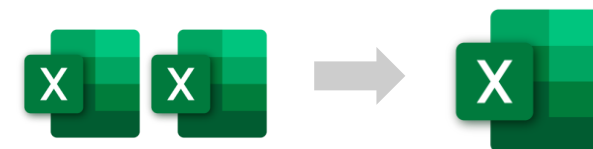
### 2 データ集計

WEB上の数字やテキスト情報を  
Excelにコピーしたり集計を行う



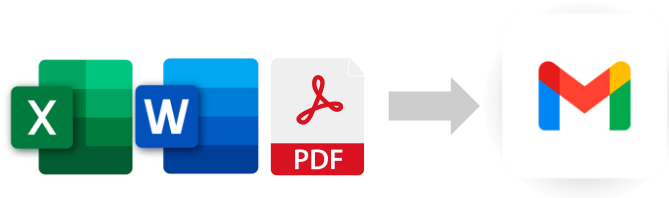
### 3 データ加工

複数のファイルから一つに取りまとめたり、  
違う表に加工・編集を行う



### 4 メール作成・送付

作成したファイルを  
メールに添付し指定宛先に送付を行う



### 5 ファイル保存処理

ダウンロードしたファイルを  
名前や日付をつけて指定のフォルダに保存する



### 6 通知

作業前・作業後に  
メールやチャットで通知する



パソコン上で表示ができるソフトウェア・アプリケーションは**すべて操作が可能です**

2024年4月にトラックドライバーの年間の時間外労働が960時間に上限規制されます。それにより、労働時間が短くなることでトラックドライバーの給与が減少し、離職率が高まり人手不足が懸念されており業務効率化が急務となっています。

トラックドライバーの時間外労働が規制 **960時間/年まで**

トラックドライバーの賃金減少

離職増加による人手不足

## 01 定型業務が多い

物流業の業務には、在庫状況の管理、受発注業務、配車業務、注文書・納品書の作成、輸出入や税関に関する書類作成など、日次で行うルーティン業務が多く含まれます。RPAは、ルールベースの処理を実行するソフトであるため、定型的な物流業の業務を自動化し、効率的かつ迅速に処理することが実現できます。

## 02 24時間体制で行う業務がある

出荷依頼は24時間発生しており、夜間に受け付けた依頼は翌朝すぐに出荷作業が始められるように準備作業を行う他、当日の出荷実績データや在庫データのバックアップなど一日の締め作業を夜間に行っています。それらの処理をRPAが代行することで、夜間に行う業務は自動化され、人が行うよりも早くミスもありません。

## 03 事務作業が多い

物流業では、オンラインショップの普及が拡大し、配送の注文が多くなっております。その中で、受注・配送・請求に関わる事務作業が増加し、PCの入力作業が煩雑になっています。RPAはPCで行うルール化された作業を自動化できるため、事務作業の工数を削減可能です。

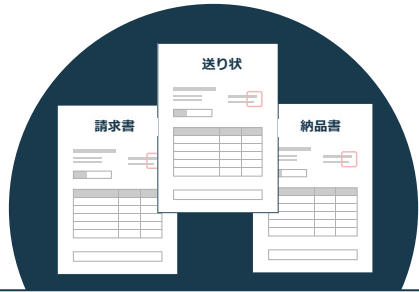
## 物流業での業務とRPAは相性が良い



- 01 RPAとは
- 02 RPAで自動化できる物流業の業務9選
- 03 RPA導入成功事例
- 04 RPA導入のポイント
- 05 RoboTANGOのご紹介



物流業ではさまざまな繰り返し作業が発生します。オンラインショップが普及したことによって配送件数が増加し、1つの業務を何度も繰り返し行う必要がある業務が多くあります。RPAは繰り返しの作業を得意としているので、物流業界での業務の多くを自動化可能です。



送り状・注文書の作成



売上データの分析



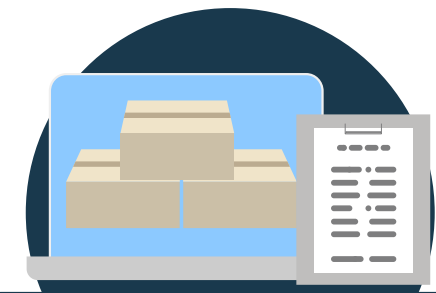
配車業務



受発注・出荷



入在庫在庫数量の更新



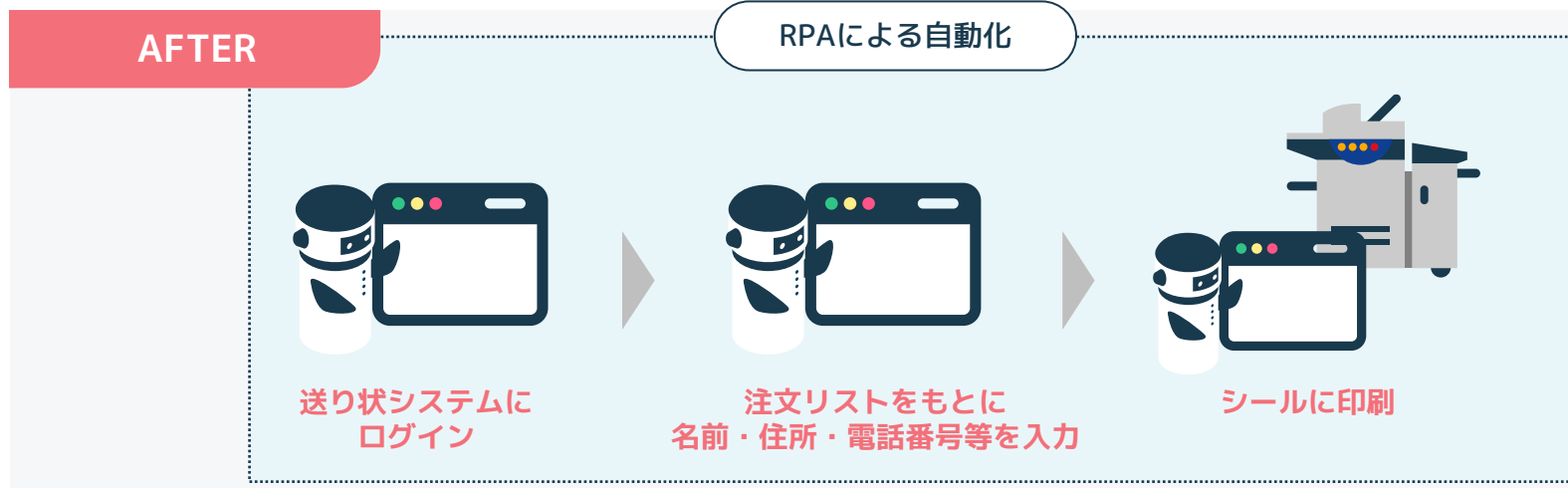
在庫状況の更新

# (1) 送り状の作成

お客様からの注文をもとに、送り状システムに転記し配送伝票の作成をする作業。  
自動化による効率化だけでなく、お客様情報もミスがなくなり顧客対応の質向上にもつながった。



- 導入前の課題**
- ✗ 入力が手作業のため、ミスが多い
  - ✗ ひたすら転記をする作業にリソースを割いていた
  - ✗ ミスがあってはいけないのでプレッシャーになっていた



- RPA導入後**
- ✓ ロボが正確に処理するので正確に納品書の作成が可能
  - ✓ 繁忙期でも一定のスピードで遂行
  - ✓ 人にしかできない業務にリリースを割ける

## (2) ETC利用明細の印刷作業

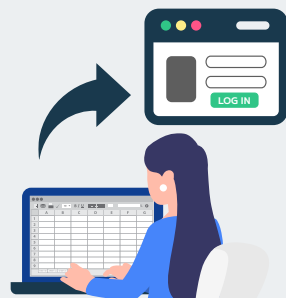
運送業務において発生した車両ごとのETC利用明細を印刷する作業。

単純作業であるが煩雑だったので、作業工数が削減され担当者の業務が楽になった。

### BEFORE



ETC利用照会サービスに  
ログイン



車両番号をExcelから取得し  
ETC利用照会サービスで検索



車両ごとのETC  
利用明細を印刷

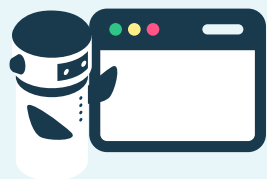


### 導入前の課題

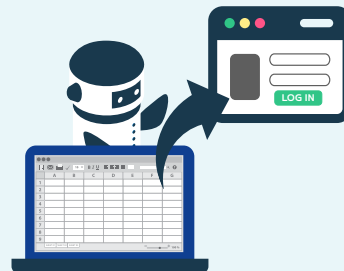
- ✗ 単純作業だが、面倒に感じていた
- ✗ 重複して車両の情報を印刷してしまうなど、ヒューマンエラーが生じていた
- ✗ 車両分繰り返しが必要だった

### AFTER

#### RPAによる自動化



ETC利用照会サービスに  
ログイン



車両番号をExcelから取得し  
ETC利用照会サービスで検索



車両ごとのETC  
利用明細を印刷



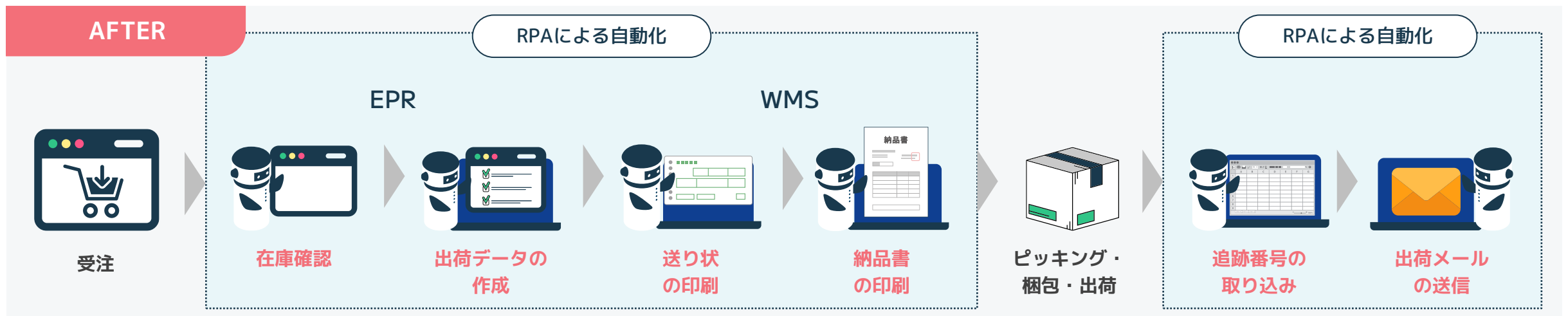
### RPA導入後

- ✓ ロボが正確に処理するので、ミスが削減された
- ✓ 作業漏れがなくなり、かならず出力できるようになった

### (3) 受発注・出荷業務

お客様からの注文情報をERP（基幹システム）に取り込み、WMS（倉庫管理システム）に送信する業務。

多くの注文を受けた際は1件ずつ対応していくと非常に煩雑な作業です。RPA化することでミスなく処理が可能に！



## (4) 配送予約情報の更新作業

お客様から配送予約を受け付け後、予約情報システムに記載されている一部の情報を基幹システムに転記する作業が発生。  
毎週300件以上の処理が発生する業務であるが、RPAで自動化することで他の業務に集中できます。



## (5) 発送実績の入力業務

毎朝発生する発送リストの修正・入力作業。必ず行う業務のため、朝はこの業務に時間を取られていた。

スケジューラ機能で毎朝RPAが処理してくれるので、朝出社したら出来上がっている状況で仕事を開始できるようになった。

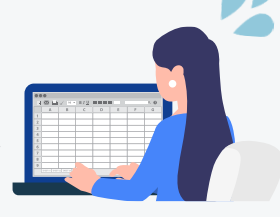
### BEFORE



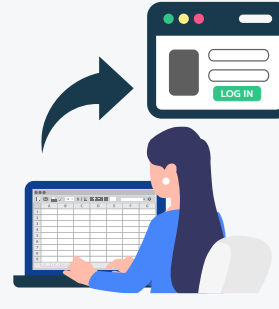
朝一で発送リストをダウンロード



正しい基地情報を入力し再ダウンロード



リスト順に発送伝票を並べ替え、原票の有無を確認



料金表を参照し、不足情報を発送伝票に追記



修正したデータをシステムにインポート



### 導入前の課題

- ✗ 毎朝発生する業務で時間を取られていた
- ✗ ヒューマンエラーが発生していた
- ✗ 件数によって時間がかかっていた

### AFTER

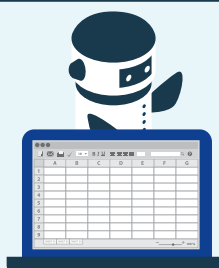
RPAによる自動化



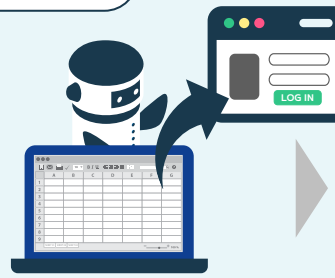
朝一で発送リストをダウンロード



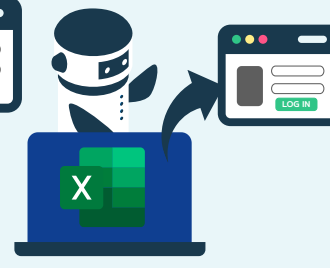
正しい基地情報を入力し再ダウンロード



リスト順に発送伝票を並べ替え、原票の有無を確認



料金表を参照し、不足情報を発送伝票に追記



修正したデータをシステムにインポート



### RPA導入後

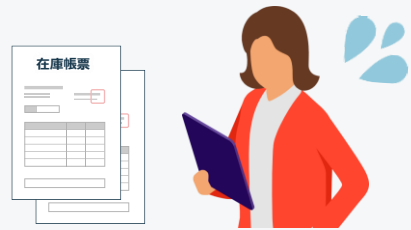
- ✓ スケジューラ機能を使って、出社したタイミングで完成しているようにした
- ✓ 作業工数が削減された
- ✓ 他の業務にリソースを割けるようになった

## (6) 入在庫在庫数量の確認・更新する業務

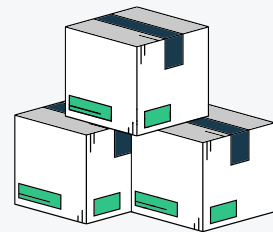
紙とデータを照合し、入在庫在庫の数量を確認し、修正する作業。

AIOCRを活用することで帳票の読み取りもスムーズに完了し、さらに人的ミス削減可能に。

### BEFORE



毎日送付される  
在庫帳票を紙で確認



帳票を元に物流センターの  
担当者が在庫を確認



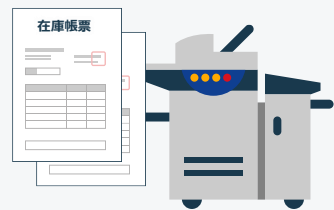
基幹システムを更新



### 導入前の課題

- ✗ 紙の目視チェックは確認漏れ・ミスなどヒューマンエラーが発生していた

### AFTER



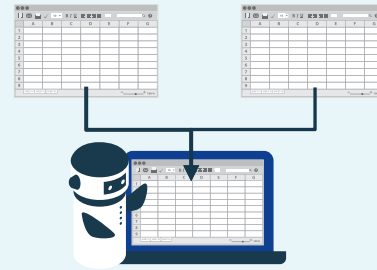
在庫帳票用紙を  
スキャンしてPDF化

### RPAによる自動化

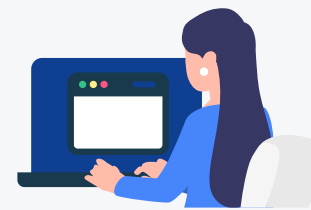


AIOCRで読み取り  
CSVとしてエクスポート

在庫データ 基幹システムデータ



基幹システムのデータと  
照合し、担当者に送付



基幹システムを更新



### RPA・AIOCR導入後

- ✓ 紙の電子データ化をすることで照合作業が楽・正確に行えるようになった
- ✓ ミスが削減された

## (7) 配送商品データの入力業務

注文を受けてトラックを手配した後、配車情報や運送距離、受注金額を配車システムに入力する作業。  
RPAが自動化したことにより、ドライバーの日報を待つ時間がなくなり負担減につながった。

### BEFORE



1日の業務終了後、  
配車情報や受注金額  
をExcelに入力



Excelの内容を  
配車システムに転記



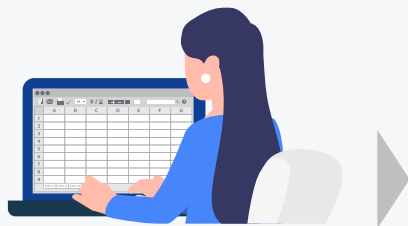
ドライバーが日報提出後  
運行距離を配車システムに再入力



### 導入前の課題

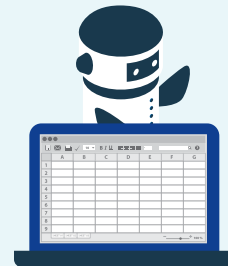
- ✗ 毎日のルーティン作業で時間をとられていた
- ✗ ドライバーの日報が遅くなると未入力になってしまい、再度確認が必要だった

### AFTER

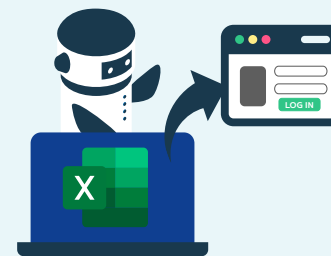


1日の業務終了後、  
配車情報や受注金額を  
Excelに入力

### RPAによる自動化



Googleマップから運行距離  
を抽出しExcelに入力



Excelの内容を  
配車システムに転記



### RPA導入後

- ✓ 自動化により、ドライバーの日報を待つ時間がなくなった
- ✓ 誰でもできる業務が自動化され、リソースを空けることができた



## (8) トラックの出発時刻の集計作業

各トラックの出発時刻の集計作業が煩雑であった。

締め切り時刻があり急ぐ必要があったが、自動化され従業員の負担が軽減された。

### BEFORE

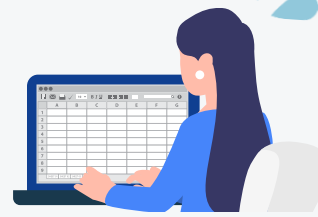


各運転手が社内システムに  
出発時刻を入力

従業員数分の作業発生



社内システムにログイン



出発時刻を集計してまとめ、  
報告用ファイルを作成



メールに添付して  
上司に報告



### 導入前の課題

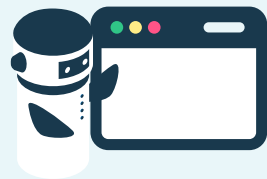
- ✗ 集計に時間がかかり、出発遅れの分析まで手が回らなかった
- ✗ 毎晩3,000便以上の集計を行っていたので、人手では負担が大きかった

### AFTER

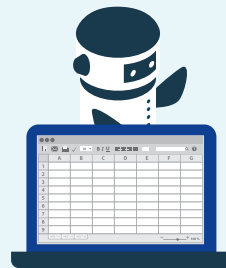


各運転手が社内システムに  
出発時刻を入力

RPAによる自動化



社内システムにログイン



出発時刻を集計してまとめ、  
報告用ファイルを作成



メールに添付して  
上司に報告



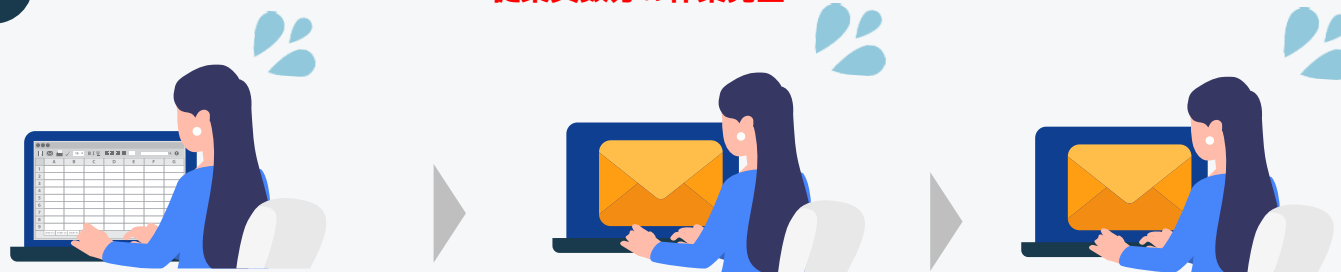
### RPA導入後

- ✓ 分析に時間を割けるようになった
- ✓ 締め切り時間に焦ることなく提出が完了した
- ✓ 従業員の負担が削減された

## (9) 免許証の有効期限のチェック

免許の更新漏れなどは業務に大きな影響があり、数百人分の社員分の免許期限を確認する必要があった。  
毎月の作業だが非常にリソースを消耗するので、自動化により大幅な工数削減が実現された。

### BEFORE



免許期限を記録しているExcelを開き  
期限を絞り込み、対象者を抽出

従業員数分の作業発生

対象者に向けた  
メールを作成

Wチェック・送信

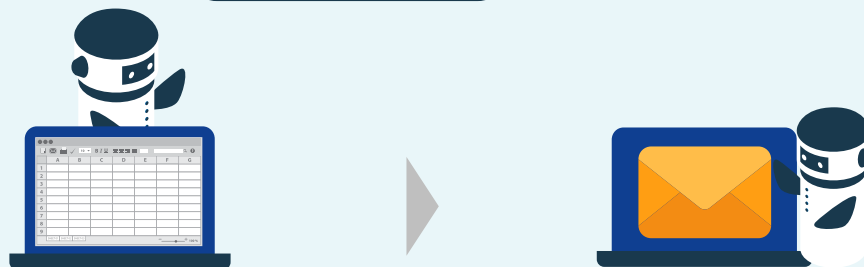


### 導入前の課題

- ✗ 集計に時間がかかり、出発遅れの分析まで手が回らなかった
- ✗ 毎晩3,000便以上の集計を行っていたので、人手では負担が大きかった

### AFTER

RPAによる自動化



免許期限を記録しているExcelで  
期限を絞り込み、対象者を抽出

対象者に向けた  
メールを作成・送信



### RPA導入後

- ✓ 分析に時間を割けるようになった
- ✓ 締め切り時間に焦ることなく提出が完了した
- ✓ 従業員の負担が削減された

下記以外にも、業種・業界問わず小さな業務から煩雑な業務まで、多くの自動化できる業務があります。  
まずは業務を洗い出し、RPAによる自動化が可能かどうかを判断する必要があります。

売上データ集計	注文書発行	請求書発行
Excelからの仕分入力・集計業務	在庫管理	SFA/CRMと社内システムの連携
勤怠管理	月次締め処理	報告書・レポート作成
アンケート集計	反社チェック	メール送信・通知

**定型業務を自動化し、業務効率化・人的リソース削減を実現**



- 01 RPAとは
- 02 RPAで自動化できる物流業の業務9選
- 03 RPA導入成功事例
- 04 RPA導入のポイント
- 05 RoboTANGOのご紹介

## 月間600件の入力作業をRPAで自動化。 導入後2か月で12個のロボを作成し、残業時間削減を実現

国際航空貨物の代理店であり、輸出の貨物を海外に送る手配を行っている株式会社近鉄エクスプレス京浜輸出営業所（以下同営業所）。同営業所では、月間4,000件あるシステムへの入力作業をほとんど手作業で行っていた。その結果、担当者の負担が増えてしまっていたためRPAを導入。わずか2ヶ月で12個のロボを作成し、1業務あたりの作業時間/待機時間を一日当たり30分～1時間の削減。さらに効率化を進めるべく、今後はロボを扱える人員増加を目標にしている。

BEFORE

- 月間4,000件のシステムへの入力作業が社員の負担となっていた
- 単純作業の処理により、本来の業務である顧客対応に専念できない状況であった

AFTER

- 入力作業の一部の600件をRPA化
- 1業務あたりの作業時間/待機時間を一日当たり30分～1時間の削減
- 顧客対応などの生産性の高い業務に専念できるようになった

手作業での月間 4,000 件のシステムへの入力作業

単純作業の処理により、カスタマーサービスの担当者が顧客対応に専念できない



顧客対応を優先するため、入力業務は業務時間外  
↳ 担当者の残業時間が増えてしまい  
作業の負担軽減は喫緊の課題 !!

導入後2か月で12個のロボを作成  
従業員の負担減

顧客対応をしている間にロボが自動で入力



- ✓月間 4,000 件のうち 600 件の入力業務を自動化
- ✓ひとりあたり約 1 時間 / 日の残業時間を削減

ロボ作成がもっとも容易だった  
RoboTANGO を導入

RoboTANGO 導入の決め手



今後の展望

今後さらにロボを増やし  
効率化を進めるのが目標

- ロボを作成できる人員を増やす
- 新たな RPA 活用の幅を広げる

AI-OCR・RPA導入による成果物

1. 600件/月の入力作業が削減された
2. 1日30～1時間の残業時間が削減された
3. 顧客対応に集中できるようになった
4. RPAの正確な操作でミスがなくなり、何度もチェックを行う必要がなくなった
5. 録画機能で素早くロボを作成



- 01 RPAとは
- 02 RPAで自動化できる物流業の業務9選
- 03 RPA導入成功事例
- 04 RPA導入のポイント
- 05 RoboTANGOのご紹介



POINT  
01

無料トライアル



POINT  
02

サポート体制



POINT  
03

コスト面

POINT  
01

## 無料トライアルで操作感・機能性を見る

- （ロボを内製化する場合）自社のリテラシーに合っているか
- 自動化したい業務が実現できるか
- 作成したロボを修正する際に自社で修正できそうか
- 連携したいシステムとの相性は良いか





POINT  
02

## サポート体制が十分かどうか

- トライアル時から問い合わせが可能か
- 導入後、初回操作レクチャーによるRPA作成フォローがあるか
- 導入後、使用方法による問い合わせは可能か
- ヘルプサイトや動画コンテンツ等、分からないポイントを調べる場があるか



POINT  
03

## コストが自社に見合うかどうか

- 自社の予算にあった費用感か
- 費用対効果は得られるか
- RPAを学習するためのリソースやサポートコストは低そうか





- 01 RPAとは
- 02 RPAで自動化できる物流業の業務9選
- 03 RPA導入成功事例
- 04 RPA導入のポイント
- 05 RoboTANGOのご紹介

ロボタンゴ

## RoboTANGO は、誰でも簡単に作成・運用できる国産RPAソフト

ロボタンゴは現場フレンドリーなデスクトップ型RPAだから初めてでも安心！低価格でスモールスタートが可能

フローティングライセンス

無料トライアル

オンプレミス

最短利用期間1ヵ月

初心者から使える

複数ユーザーで使える！

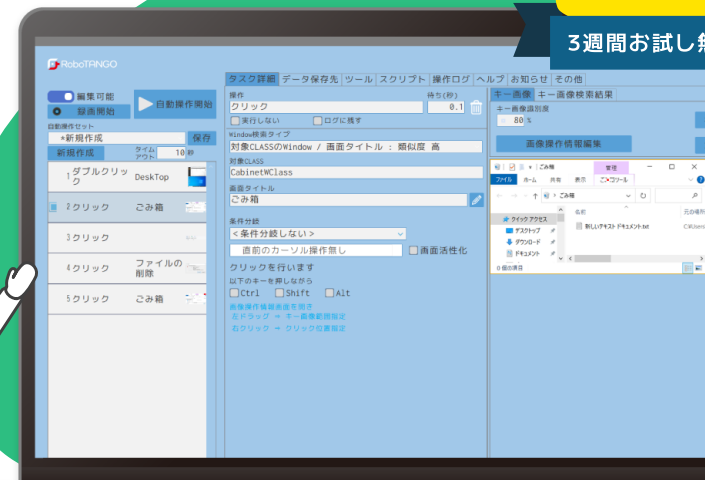
無料  
トライアル  
受付中

3週間お試し無料

中小企業への

RPA  
導入実績  
**450**  
社以上

継続率  
**99.3%**  
※1



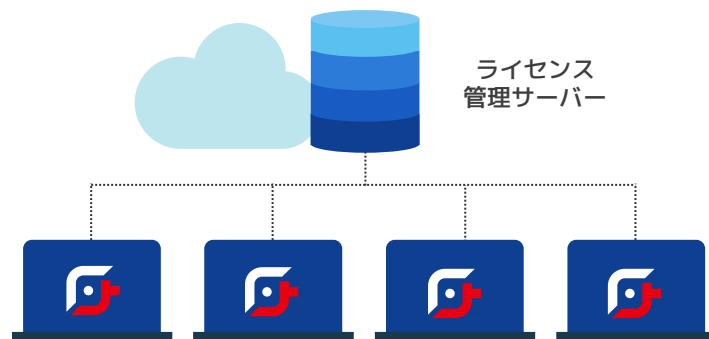
※1) サービスの最低利用期間での解約率0.7% (2022年9月末時点)

### RoboTANGO導入におすすめの方

従業員規模	小規模～大規模	利用者	<ul style="list-style-type: none"><li>部門・グループ</li><li>担当者</li><li>システム部門</li></ul>
主な業種	製造・メーカー、卸売、小売、BtoBサービス、BtoCサービス、医療・福祉、建設、運送・運輸、IT・通信、出版・印刷、不動産、飲食など		

## FEATURE 01

### フローティングライセンス 標準提供



- 1つのライセンスを、複数のPC端末でご利用可能
- 複数のPC・部門・拠点をまたいだ利用ができる
- RPAロボットの作成数や実行回数制限なし
- ロボ作成や運用に関わるコストダウンを実現

## FEATURE 02

### 録画機能+ ボタン で簡単記録



- 画面上の操作をそのまま録画することができる録画機能を活用して、短時間でスムーズにRPAロボットが作成可能
- プログラミングの知識や技術が不要

## FEATURE 03

### 低価格で短期間利用できるから スモールスタートが可能

RoboTANGO なら低コストかつ早期スタートが可能 /



- 1ライセンス5万円/月で最短利用期間1ヵ月での利用が可能
- 繁忙期や閑散期に合わせてライセンス数の調整が可能



ITreview Grid Award 2023 Fall

## RPA 3部門で LEADER 受賞

RPA部門「総合・中堅企業・中小企業部門」でLEADERを受賞しました！

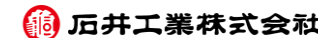


### とてもプログラムが作りやすい！ ★★★★★

言語を組める職員がいない会社で導入しましたが、ものすごい作りやすいです。3拠点で毎日使用しています。メールでの問い合わせは無料だったり、サポートも非常に充実していると感じます！！簡単にロボットを作れるので、すべてのRPAの弱点だと思われる、動かしたい他のアプリケーションの仕様変更があった場合にも簡単に修正できます。

## 導入実績

RoboTANGO（ロボタンゴ）は、中小・中堅企業様を中心に、業種・業態・部門を問わず、多くの企業様にご導入いただいております。



※順不同

RoboTANGOのお問い合わせはこちらから！  
無料トライアルのお申し込みも可能です



お問い合わせ

無料トライアル  
(お試しデモ)

お電話でのお問い合わせ先

 **0120-277-031**

営業受付時間 9:00～18:00 (土日・祝祭日除く)

メールでのお問い合わせ先

 Mail:[info@reiworq.com](mailto:info@reiworq.com)

